

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	和光市宅地耐震化推進事業														
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度 (5年間)												重点配分対象の該当	○	
交付対象	和光市														
計画の目標	第一次スクリーニングで抽出された大規模盛土造成地において、第二次スクリーニング計画を作成し、詳細な調査が必要と判断する箇所を抽出し、優先度評価を行う。 第二次スクリーニング計画で優先度が高いと評価した大規模盛土造成地から順次第二次スクリーニングを行い、活動崩落のおそれがある大規模盛土造成地を抽出する。 以上の結果をホームページ等で公表し、住民への周知を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		51	A	51	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)	(R3末)	(R6末)
1	作成した第二次スクリーニング計画の概要をホームページ等で公表し、住民への周知を図る。			
	ホームページで公表することによる住民への周知割合	0%	100%	100%
	ホームページ公表大規模盛土数／大規模盛土造成地数			
2	優先度評価の順で実施した第二次スクリーニングの結果（安全性・予防対策）をホームページ等で公表し、住民への周知を図る。			
	ホームページで公表することによる住民への周知割合	0%	16%	100%
	ホームページ公表大規模盛土数／大規模盛土造成地数			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	和光市	直接	和光市	－	－	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング計画の 作成、第二次スクリーニング	和光市	■	■	■	■	■	51		－
											小計						51		
											合計						51		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本整備総合交付金事業の事後評価を和光市において実施した。	令和6年度末
	公表の方法
	ホームページで公表した。
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	5か年の業務委託において、和光市の大規模盛土造成地全6か所について、これまでの第二次スクリーニング結果から地震時安全率が1.0を上回り、安全性が確保されていることを確認し、現段階での滑動崩落の危険性がないと判断された。このため、ホームページで周知を行った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
今後の地下水位の上昇やせん断強度の低下等により、盛土は経時的に安全性が低下する恐れがあるため、経過観察により盛土の安全性を継続して確認を行っていく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	宅地耐震化推進事業の概要、大規模盛土造成地マップ等をホームページで公表し、住民への周知を図った。		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	変動予測調査結果及び進捗状況をホームページで公表し、住民への周知を図った。		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	